

新潟市地球温暖化対策地域推進協議会平成 29 年度事業報告

1. 運輸部門へのアプローチ

【エコ・モビリティライフ（エコモビ）の推進】

新潟市、新潟県地球温暖化防止活動推進センター、新潟市モビリティマネジメント推進協議会および、にいがた市民環境会議と共催で実施。平成 29 年度は事業者に加え市民も対象とし、実践期間を前年度より長く設定。期間中はエコドライブイベントを実施し、「エコモビ」情報の周知・実践の呼びかけや、エコドライブの徹底などを推進しました。

また、エコモビ推進運動の参加者の中から、優秀実践者を選定し表彰します。

実施期間	実施内容・取組効果
10月1日 ～12月31日 ※実践期間	<p>【実施内容】 ・HP,商工会議所の会報誌,各メディア等を通じた事業の周知(9月～)</p> <p>【参加者数】 市内事業所・団体 計55団体／従業員数18,336人 個人賛同者数 計1,519人(集計中)</p> <p>【表彰者】 別紙1のとおり</p> <p>【取組効果】 ★参加事業者の取組み ・ガイドブックを含むエコモビ啓発ツールの活用 ・エコ通勤チャレンジサイト・新潟市交通お役立ちサイトの活用 ・ノーマイカーデーの設定・実施(2団体) ・徒歩・自転車通勤の奨励(駐輪場確保11団体) ・エコドライブ研修会の開催(5団体) ・エコカー(EV・PHV・HV等)の導入(7台) ・市民向けエコドライブイベントの実施(参加94人) ・CO₂削減量推計値(2,544t-CO₂)</p> <p>【その他取組】 ・市役所職員への実践呼びかけ,公用車へのステッカー貼付 ・公共施設での広報 ・ラジオ放送,バス車体広告の実施 ・ラジオ取材 ほか</p>

2. 市民への広報

【啓発イベントの実施】

平成 29 年度, 30 周年を迎えた環境フェアでブースを出展し, エコドライブについて来場者に啓発したほか, 北区環境まつりでの啓発も行います。

実施期日	実施内容・取組内容
10月1日(日)	<p>環境フェア開催(共催事業) 会場:万代シティ通り 来場者:31,176人</p> <p>【取組効果】 スタッフ参加の推進員と連携し,シミュレーターの体験者は35人。エコモビ賛同者84人。ふんわりアクセルや早めのアクセルオフなどの効果について体験者から理解してもらった。</p>
H30年 3月11日(日)	<p>北区環境まつり(共催事業) 会場:豊栄総合体育館 エコドライブシミュレーター体験ブース運営</p>

※その他…12月11日(月)冬の交通事故防止運動にてエコドライブ呼びかけ(中央区)

【市民向け省エネ取組み支援講座の実施】

コミュニティ協議会，自治会・町内会，小・中学校等へ講師を派遣し，省エネ取組みの講習会を開催。身近な取組みについて啓発しました。

実施回数	実施内容・取組内容
全 20 回 (2 月末現在)	講 師:当協議会員，県地球温暖化防止活動推進員，市職員 全 20 回のうち 7 回を当協議会員が講師を務めた。 参加者:817 人 【取組効果】 回収したアンケートから，家庭の省エネについて「これから実施したい」との回答に削減 CO ₂ (kg)を乗じた「努力削減量」は全体で 25,078kg-CO ₂ /年であった。 (回答者数 106 人。一人当たりに換算すると約 237kg-CO ₂ /年)

3. 民間企業への啓発

【中小事業者向け省エネ支援セミナーの実施】

新潟市，一般社団法人環境省エネ推進研究所との共催で実施。市内中小企業を対象に，エネルギーコスト削減や投資費用の回収にかかる手法，市の補助事業等について紹介しました。

実施日	実施内容・取組内容
7 月 7 日 (金)	テーマ:「補助金を活用した省エネ改修」 講 師:一般社団法人環境省エネ推進研究所 代表理事 藤川 博文氏 参加者:32 人 【取組効果】 回収したアンケートから，参加者の 8 割が「セミナーの内容を職場で活用できそう」と回答した。また，受講をきっかけに省エネ診断を受診した事業者もあり，セミナーの実施に効果がみられた。

4. その他

【ワーキンググループ事業】

推進協議会内で各ワーキンググループを立ち上げ，イベント運営をしました。

ワーキンググループ	実施内容・取組内容
イベント実施WG	○環境フェアブース運営(10 月 1 日) エコドライブシミュレーター体験補助(推進員 6 名) ○エコドライブイベントブース運営(10 月 21 日・28 日，11 月 4 日・5 日) 商業施設(4 か所)内でエコドライブシミュレーター体験補助(推進員 9 名) 【取組効果】 呼び込み，説明，体験補助等，全員で連携してブース運営を実施。

【研修会の開催】

新規会員の県地球温暖化防止活動推進員を中心に，省エネ取組み支援講座の講師の養成や市の施策，省エネ啓発について知識を深めてもらうことを目的に研修会を開催しました。

実施期日	実施内容・取組内容
8 月 30 日 (水)	新潟市の地球温暖化対策についての説明，推進員による家庭の省エネ取組み講座のデモンストレーション，全員でのグループワークを実施。(参加者 13 名) 【取組効果】 新規会員と，経験のある会員が，グループワークを通じて意見を交わしたり，普段活動していく中での課題や悩みなどを共有したりできる良い機会となった。

平成 29 年度エコモビ推進運動 表彰者一覧

名称	表彰	表彰理由
旭カーボン株式会社	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 社有電動アシスト付自転車を購入・貸出。業務以外でも、通勤等での使用を認め、日常生活における低炭素交通の推進についても努めた。 ● 期間中、徒歩・自転車・公共交通機関の利用に関するコンテストを独自に実施し、社全体で 1,517kg の CO2 削減に繋がった。(昨年度の活動拡大) ● 社内で団体・個人表彰を行うことで、取組結果のフィードバックを行う一連の取組みは、他団体の参考になる。
NEC ネットエスアイ株式会社新潟支店	優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 社用車のエコカー導入を積極的に行っている。 ● 日誌の記録から社用車ごとに燃費等の管理を行っているほか、燃費等の社内目標を立て、定期的に見直しを実施している。 ● 社用車に搭載されている音声ガイダンス付きの車載計測器による忠告・アドバイスを受け、運転者は安全・エコモビを意識した運転を心がけている。 ● 安全運転はエコドライブと密接に関係しており、コベネフィット的アプローチは、効率的な低炭素交通の移行に繋がり、乗用車が不可欠な新潟市ではモデル的な取組みである。
一般財団法人新潟県環境分析センター	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動期間に、社用車の燃費調査に取り組んだほか、期間後のエコドライブ実践状況アンケート調査及び私用車の燃費調査に取り組み、職員に調査結果のフィードバックを行った。
国立大学法人新潟大学	優良賞	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで毎月第一金曜日に行っていたノーマイカーデーの実施率が低いことを課題として、教職員に対し、実施率向上に向けた具体的なノーマイカーデー手段（ライドシェア、パークアンドライド等）の周知を行った。